

【聞き方名人】【あいさつ名人】【遊び名人】【ボランティア名人】

吉田小学校は、4つの名人を目指しています！

吉田小 結いの子通信

第3号



発行者 吉田小学校運営協議会

2016. 2. 25 (木)



地域全体で子育てを



今年度最後となります第4回の**学校運営協議会**を、2月19日（金）に行いました。今回の協議内容は盛りだくさんで、今年度の学校評価と来年度の学校教育計画についてお伝えし、委員の皆さんに承認していただきました。学校評価に関しては、「家庭学習の定着率が高い」という学校からの報告に対し、「学習への保護者の関心はいかがですか？」というご質問や、児童の健康・体づくりについて、「体力向上のために学校がされていることは？」などのご質問を委員さんよりいただきました。

学校運営協議会制度＝コミュニティ・スクールである吉田小中学校の目指すところは、「**地域とともにある学校づくり**」ですので、こういうご質問やご意見をいただくのはありがたいことです。

このような話し合いを通して、地域の方からの声を反映させ、今後も**学校・地域・家庭が連携**した学校づくりを目指していきます。

今回は、**熟議**も行いました。テーマは、「今年度の成果と課題」です。以下にご紹介いたします。

学校運営協議会の周知度が前年度より上がり、活動も少しずつ見えてきたと思います。

しかし、どのようなことをしているのか、地域や家庭にもっと知っていただくために、「見える学校運営協議会」にしていかななくてはなりませんね。

来年度は、「結いの子通信」の発行回数を増やして、活動についてお知らせしていきましょう！

私たち委員も、保護者や地域の方に知っていただけるよう、学校行事などに積極的に足を運びましょう！



(裏面に続きます)





昨年度、人材バンクを作りました。少しずつ活用がなされているようです。

今年度は、様々な学習支援に来ていただいたことが大きな成果です。また、子ども・地域・保護者が集う活動があったこともよかったですと思います。

吉田には、まだまだ素晴らしい人材がいっぱいいます。その方たちを発掘して、学校を支えていただく戦力にしていくことができればいいですね。

このことにつきましては、3月1日に「地域人材活用アンケート」をお配りしますので、是非ご協力をお願いいたします。



第3回の学校運営協議会で出されていた課題につきましては、以下のような前進がありました。

学校が地域に貢献できるようにするために、児童生徒が参画できる仕組みを整えることが大切ではないか。

中学生が参加している地域ボランティア（おやまさん・辰まつりなど）に、小学生も参加できるように、計画をしています。

老人会など、吉田にある様々な団体と学校との年間行事のすり合わせができる会合が開けないか。

吉田地区の様々な団体の代表者が会する代表者会議が、2月9日に行われました。学校の年間行事計画や実態をお知らせし、行事のすり合わせや相互協力についてなど話し合いがなされ、非常に有意義な会となりました。

歴史探訪を行って、もっと吉田のことを知ってもらいたい。遠足などのできるのではないか。

吉田の歴史や自然がわかる「吉田オルレコース」を、地域の方のご意見を生かしながら作ることになりました。来年度の春遠足は、学年の実態に合った内容のコースを歩くことになります。

吉田小・中学校は、学校へのご意見やご質問などを、是非これからも生かしていきたいと考えています。学校協議会の委員さんにお話されてみませんか？ または、下部にご記入いただき、子どもさんや近所のお子さんに持たせていただいても構いません。



切り取り線 --- 切り取り線
ご意見・ご質問・ご感想などどうぞ…。